

清流GAPのパイオニア



ぎふ清流GAP評価制度の証書を受け取った生産者ら＝岐阜市下奈良、県福祉・農業会館

県農産物

豊かな林と清流恵みを受けて、岐阜県の農林産業、県民生活に、地味地質、ブロード展開、地域資源活用、の4点を基本方針としてさまざまな取り組みを進めている。岐阜新聞社では、岐阜県の農業を応援する「幸せの農つぎ」キャンペーンを展開。今日は農業生産工程を評価する県の新しい制度「ぎんぎ流GAP」を受けて第1号の認定を受けた生産者をサポートを当て「GAP」に取り組むことの大切について考へる。

食の安心・安全と信頼

[illegible]

8団体を認証 第1号

と呼び掛けた。すると「各団体の生産者の実物と農機具の展示が分かる見学の入り口パネルが展示されて、見事な生産者と話をすることが出来た。早速帰った。交付を受けた川口農機具展示台木本さんには「感謝状を送って、責任を持って取組んでください。」消費者の皆さんに「清流・A・P安全な農産物教育センターが伝わる」と話した。また、地域の生産者のポイントとして「うしにのみを興えるの草野節子さんは、交付式を終え、地域の若者が取得した」という声が上がったことが予想になる。体制整備も、しっかりとサポートしていきたい」と話した。

今後、同制度年度3回の申請を受け付け、評価・証書交付を行う。評価団体は1農産物300円（組織、施設費別途要）で、2017年に創設されたGAP推進制度を取得していた団体は本年度は無料となる。申請先は各地域の農林事務所。

JA全農岐阜
いちご新規就農者研修所

県産イチゴの担
い手不足解消や生
産振興を目的に2
008年度に開所
した全国農業協同

組合連合会岐阜県本部が運営する
いちご新規就農者研修所（岐阜
市）。就農希望者に1年2力月か
けて、栽培技術や農場経営を指導
している。生産者にGAPの実践
を促していくために、まずは研修
所としてぎふ清流GAPの取得に

[illegible]

農事組合法人三郷

養老町



三郷

養老町

農組組合「三郷（養老町養老町）
今日出荷された品
は、11月から3月
にわたる全キャベツ、J・A
に栽培される出荷額、かつ大
葉としてスーパーなど販売さ
れている。」

代表理事の田中茂彦さんは、
業としての事に就いての経験
から、製品やサービスの品質
格であるJ・Aのものを認める
意義を痛感して、農業
における誠意をもって、農業
について知れた。今後定着し
ていくを見え、また、定着し
ていくに先行し取り組まば
らにできる、認取得っていく
ていった。

トクファクトリー消費に用
する油の採保は消防に相
談しながら、新に専用品を
倉庫を売却。農産物の保管
倉庫は、整備員が金庫のた
地。城村、従業員は養老と華の
間を統括しては、J・Aの
を統一し、畑と農と農と
解を示し、畑と農と農と
を統一し、畑と農と農と

さ、油をG・Aに取組むこ
と、従業員とに指示する際、
備品をもとに指示するの
と、意図が伝わりやすいの
う、田中では、指示する側も安
心できる。そして農産物の
品質に安心、安全の面を考
客様に届けるようにしてい
た。農産物の何、
を改善する、と、おとしい直
結するのびでは、。後は基
本を、安全おい、野菜
を育てていく」と、

JAにしみの興農社

大垣市



裁縫しては、4年前のグリータスをはじめ、生販売におけるスタンダードとなる、先輩者に推し進むべく立場として、生販売に取り組みたい」という針のもと、当初からGAPを取得した後、GAPを推薦らに取組んだ。裁縫を開始した最初の1年間にはJの直営所のみで販売し、売れ残りがあるところまで販売し、残りを買取った後、GAPを推薦らに取組んだ。

GAPに関しては「裁縫環境づくり」によって始まった。たいてい控へて来た。このことを見つけ出した。翌年取得に成功している。

水戸屋

惠那市



東馬市で自然栽培の生産、販売を行っている「水戸屋」 2004年の創設以来、専門業として高品質な自然栽培を育て、県が認める県の逸品を育て、「美濃くれもの」や「伊勢青いざなぎ春奈浜品」に認定されている。波板を斜めに打って敷き詰めると、自給栽培の基準方法を確立し、独自の栽培方法と限内の事業にその栽培方法の注進を行っていた。

「公称規格」で生産された証書を受けるとして、一般のお客さまに提供したところ、好評を得た。また、清流の水にも特別な味があり、収穫後自然乾燥させた状態で、井戸の水質に洗わずに使用すると井戸の水質を落されてくれるというリクエストがあった。そこで、選ばれる二つの製品、屋根骨を置いた一ル製の水戸屋の評定水準に沿った設備をつつたところ、安全・衛生的な施設とした栽培工程から、上野市では「農業者」として最低賃金以上の賃金を稼いでいること、この仕組みに慣れた者は、この栽培方法に、安全な食品を生産できているという生活者としての信心にもつながる」と語す。

今後国際的なGAPにも挑戦していく予定。また農協方法も指導しているところ、他の業者にもGAPの重要性を伝える取得を勧め、全体のレベルアップや商売価値の向上に努めている。

幸せの
 農きっぷ

volume. 1

GAPに取り組むメリット

- ④ **食料安全**
 - ・食品廃棄物リスクの低減
 - ・病原性大腸菌など微生物汚染の低減
 - ・金属などの異物混入の低減
 - ⑤ **環境保全**
 - ・土壌や水質の汚染の防止
 - ・生物の多様性の維持
 - ⑥ **労働安全**
 - ・農作業事故の防止
 - ・農作業の受渡による技能の向上
 - ④ **農場経営管理**
 - ・ルールや伝統に基づく効率的な経営の實現
 - ・情報の見える化による円滑な事業継ぎや担い手育成の實現
 - ・従業員の自主性の向上
 - ⑤ **人権保護**
 - ・他産業並みの労働条件の確保
 - ・女性・障がい者・外国入来実習生をはじめすべての人が働きやすい環境整備

これらが実践されたことにより



ぎふ清流GAPのロゴ 岐阜の「G」とGAPの「G」を重ね、その形や重なりで、田畑や森、永く続く豊かな岐阜の自然をイメージしている。

- 信頼される農場になる
- 消費者・販売者から選ばれる農場
- 地域をリードする農場
- 従業員が安心して働ける農場

生産から出荷に関わるすべての
人が連携・協力しあい一体とな
ってGAPに取り組むことで
信頼される産地になる

下宮青果部会協議会
ごうど下宮GAP組織

神戸国



内、有葉の小松菜、水菜、白菜の地で、あなへ都戸町町の生産者で、下宮青都部会副会長（下宮GAP組長）は、2017年創設の興GAPを確立度も取っている。団体事務局のあるAにしてみれば、支店がない、確認のほどは世界市場のGAPの認証を得ている生産者団体があり、GAP取得のノウハウがすでにあったところ、清流GAPについで生産者向けの説明会を行なしてサポートに取組んでいる。

GAPを定めており、もうと力をあわせている。環境への保全と成長小松菜と水菜は、清流GAPに承認取得にあたっては、農作業中の事故の防止に向けて、作休中の事故の防止や水源地の位置、現場付近でなく書面にも記しつけて安全な情報、周知にしたい。また、各生産者の取組や考えなどを改め、確認すると、安全安心の経営経路での意識を新たにすると機嫌になった。

団体事務局の担当者も、管内で生産されている農作物は安全だとはだが、清流GAPはAは第三回に於いて、Aの項目も詳細に受け入れて、よけ安量度、バケツなどについて、1ヶ月間、PRしてきていた」と記している。

GAP（ギャップ）とは、'Good Agriculture Practice'の頭文字で、「農業生産工程管理」と訳される。農業の生産工程において食品の安全や自然環境の保全、生産者の労働安全や人権の保護に配慮し、農産物の供給を確保可能にするための取り組み。国際的な非営利のグローバル・ GAPやJGAP、ASIAGAPのほか、各国の法律・ガイドラインに沿って各都道府県が独自に策定した GAP 認証制度などがある。東京五輪・パラリンピックでは、選手村などにて提供される食事に使用される食材は GAP 認証を受けていることが条件とされており、これを契機として取引の際に GAP 認証の取得を要する動きが高まっている。

県では2017年に県GAP認証制度を創設したが、昨年11月に生産者がより取り組みやすく、かつ国際水準GAPを目指せる制度として、新たに「ぎふ清流GAP評価制度」を制定。県は制度の推進拠点として「ぎふ清流GAP推進センター」を設置した。

同制度には国際水準GAPに準拠した項目など109の評価基準があり、生産者は自己点検を行ったのち、同センターから評価を受ける。評価結果が一定水準以上の生産者には評価証書が交付されるほか、農産物にロゴマークを使用することが認められ、消費者や流通業者にPRすることができる。

負担当者は、「この認証制度を通して、生産者たちが
食品安全、環境保全、労働安全などに真剣に向き合って
農産物を作っていることを、消費者の方々に伝えたい」
と話している。